

3月・4月の管理ポイント

生育期に向けて
 土壌水分を整えましょう



レボ (REVO)

冬の間は代謝や生理反応が低いので、ダメージが見えにくく見逃されがちですが、長期の乾燥で土壌の撥水性が強くなりドライ症状が発生してしやすくなっています。生育適期に土壌水分が最適な状態になるように、土壌の水管理に気を配りましょう。レボは、表層土壌の水分を低めに保つので土壌中酸素の割合が高くなり、根が生育しやすい土壌環境を作ります。定期散布すると安心です。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回

乾燥・過湿から
 グリーンを守りましょう



プライマーセレクト

冬の間には土壌は乾燥し撥水性が強くなっています。プライマーセレクト処理で、撥水性が軽減し根圏に水を満遍なく行き渡らせましょう。プライマーセレクトは、生育に適した土壌水分を保持する働きがあるので、定期散布をして効果を常に持続させると安心です。レボよりも土壌表層の水分を少し高めに保ちます。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回

ブースター（導入剤）として



グリーンシナジー

ベントが活動を始めたらいち早く養分を吸収させたいのですが、養分を与えてもベント自体の吸収力がまだ弱い冬越しした土壌は撥水性が強くて、なかなか根圏まで届かず無駄になってしまいがちです。グリーンシナジーは根圏土壌の隅々まで水を届ける働きがあるので、肥料、ミネラル、糖、アミノ酸…などと混用すれば、水と一緒に養分も根圏の隅々まで行き渡ります。与えた養分を無駄なくベントに届けるには、グリーンシナジーのご使用がお勧めです。

使用量：1-2ml/m²/月 散布水量：100ml-1ℓ/m² 使用方法：資材の散布時にタンクミックス

光合成低下中のエネルギー補給



グリーンメカ

ベントの活動が始まり、エネルギーが沢山必要になる時期ですが、まだまだ光合成が停滞しているためエネルギー不足状態です。光合成から供給されるエネルギーが足りないと、貯蔵エネルギーを使ってしまいスカスカのベントになってしまいます。できるだけ貯蔵エネルギーを使い込まないように、糖、アミノ酸をたっぷり含んだグリーンメカを処理し出来るだけ早めに代謝や光合成、生理活動を回復させましょう。グリーンメカにはミネラルもたっぷり入っているので徒長予防にもなります。

使用量：2-10ml/m² 散布水量：1ℓ/m²

有機物が溜まっています



サッチ・マネージャー

冬の間には有機物が溜まっています。サッチ・マネージャーで分解を促進させましょう。本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある有用菌を選抜した微生物資材です。様々な土壌環境に適応できるよう、16種類の有用菌(乳酸菌11種、枯草菌3種、酵母菌2種)で構成されています。製剤1g当たり約400億個の菌配合で土壌中でも安定した効果が期待できます。

使用量：ラフ・FW 0.1-0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量 0.2~0.5ℓ/m²

ベントが活動を始める時期

気温が5℃以上になるとベントグラスが目覚め始めます。生理機能を出るだけ早く回復させ良いスタートを切る為、冬の間になくなった養分を補給して栄養バランスを整え、本格的な生育に備えましょう

◆冬越したベントと土壌の状態

生育必須物が減少(葉緑素や酵素など)

光合成が低下

代謝が低下

エネルギー不足

栄養バランスが崩れている

ソロソロ起きる時期かな?

◆回復に必要な養分を補いましょう

●必須養分 代謝関係、光合成関係の養分はこの時期特に重要です

- ・多量要素 N 窒素・Pリン・Kカリウム
- ・中程度に必要な要素

	主な生理作用
Ca カルシウム	・細胞組織の強化 ・耐病性向上 ・根の生育促進
Mg マグネシウム	・葉緑素や酵素の構成成分 ・活性酸素の抑制 ・ケイ酸の吸収を助ける ・リン酸の吸収や運搬を助ける ・様々な代謝に関わる酵素の働きを助ける
S 硫黄	・タンパク質、アミノ酸、ビタミンの合成に関与 ・体内の酸化還元、生長の調整などの生理作用に関与 ・葉緑素の生成に間接的に関与

・微量元素

	主な生理作用
鉄	・葉緑素の生成に関与 ・酸化還元反応に関与
マンガン	・葉緑素の生成、光合成、ビタミンの合成に関与 ・酸化還元酵素の活性化
ホウ素	・水分、炭水化物、窒素代謝に関与 ・酵素作用の活性化 ・Caの吸収転流に関与
亜鉛	・酵素の構成要素 酵素の活性化 ・酸化還元の触媒
モリブデン	・酸化還元酵素の構成要素 ・ビタミンの生成に関与
銅	・酸化還元に関与 ・葉緑素の形成に間接的に関与
塩素	光合成の明反応に関係 ・植物体内構成成分合成に関与

N・P・K以外の養分も、必要量は少ないですが重要な役割を担っています

●糖、アミノ酸

光合成が低下している際は、エネルギーを外から補給しましょう。エネルギーが足りないと、貯蔵養分を浪費してしまいます。

◆必要な養分をしっかりと与え良いスタートを切りましょう

栄養バランス整い エネルギー十分

アミノ酸・糖

光合成低下で
不足したエネルギーを補給

必須養分

NPK以外の必須養分も
しっかり補給

代謝回復! **光合成回復!**

エネルギー充分
貯蔵エネルギーも十分
(浪費していない)

強健

- ・病害虫に強い
- ・ダメージ受けにくい
- ・回復早い

・活性酸素抑制機能が働くので活性酸素によるダメージが最小限
 ・更新作業等のダメージ少。回復も早い。

栄養バランスが崩れ、エネルギー不足

代謝低下したまま

光合成低下したまま

貯蔵養分を浪費

徒長

刈込手間が増える

軟弱

ダメージ病害虫に弱い
回復が遅い

・活性酸素抑制機能が低いため、光合成が低下したまま太陽光が強くなった場合、余剰エネルギー(活性酸素)によるダメージが大きい。
 ・更新作業のダメージ大。回復も遅い。

根が動き始めるこの時期は、今後の生育状態を左右する大切な時期です
足りない必須養分とアミノ酸・糖を与え、良いスタートを切りましょう